

第31期 事業報告書

平成11年2月21日～平成12年2月20日

証券銘柄コード 8217



戦略性と機動力のある事業展開を。



代表取締役社長
大桑 啓嗣



業界が激動する中、自主自立の道を歩む

現在、流通業界は消費低迷などの経済不況、大店法緩和による出店ラッシュによる競争激化、インターネットの発展による新販売チャネルの出現など、これまでとは違った環境に取り囲まれております。生活総合産業を旗印に多角化を進めた小売業は、時代変化の早さに追従できず収益構造を悪化させ、厳しい事業環境にさらされております。構造不況業種とまで呼ばれだしております。これは昭和28年11月、青山紀ノ国屋が初めてスーパーマーケットを開店以来40年、新たな局面を迎えているといっても過言ではありません。

当社「オークワ」は、激動する市場環境の中、スーパーマーケット、ショッピングセンター業にもてる経営資源を集中し、大阪、和歌山、三重、奈良の1府3県にチェーンストアとしての利点を生かし、ドミナントエリアを築いて参りました。さらに地域経済の活性化に留意しながらドミナント戦略を展開して参ります。

株主のみなさまにおかれましては、前向きの構造改革を断行している「オークワ」にたいし、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当社「株式会社チェーンストアオークワ」は平成12年2月21日をもって「株式会社オークワ」に社名変更しております。

今期の新規出店



本社中島店



ロマンシティ 御坊店



かつらぎ店



最大の戦略課題は“地域(コミュニティ)とともに”をテーマに個店強化

大量生産、大量消費時代は終焉を迎えております。いま時代は「ワン・トゥ・ワン・マーケティング」時代。お客様一人ひとりの生活スタイルに注目していかなくてはなりません。

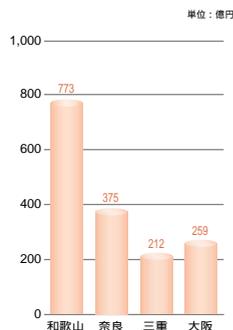
全国レベルのマス・マーケティングではなく、地域に根ざした品揃え、価格揃え、販売促進を実現すべく努力して参ります。地域品揃えは小売業の生命線であります。高齢化社会を迎え、低価格で、健康面を重視し、良品質を追求していくマーチャンダイジングを展開します。そのための取り組みの第1年目。次のような取り組みを重要テーマとして展開し始めました。

最大のテーマは5年前から開始した「オールド」会員との積極的な対話。115万人の会員から積極的にお客様の意見に耳を傾ける運動を開始しました。品揃えにその意見を生かしていくためです。

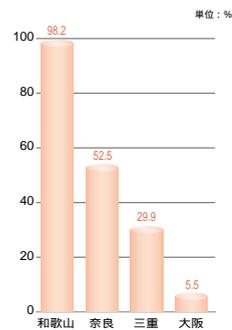
第2のテーマは、健康に良く、手頃でおいしい商品の開発です。全国、いや全世界から自らお客様の代行として商品を探る新たなバイヤーを新設しました。従来の商品部組織とは別途に、社

オールドは当社が発行するサービスカードで顧客情報の収集などに役立ち、平成12年2月20日現在で115万枚普及しています。

府県別直営売上



府県別オールド世帯加入率

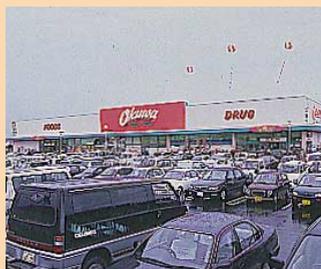


長直轄で隠れた商品を探します。

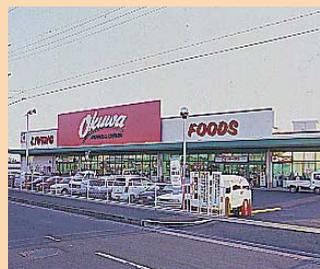
第3のテーマはコミュニティです。そのため業態別組織から地域別(ゾーン)組織に変更しました。品揃え、販売方法、販促方法など地域から発想していくことをはじめて参ります。



香芝逢坂店



津高茶屋店



南部店



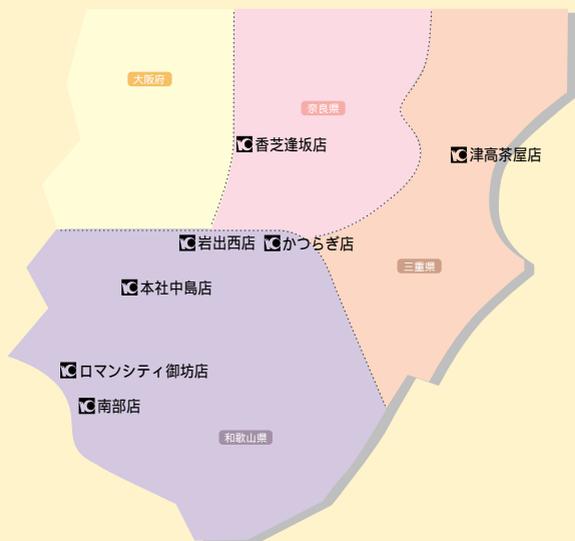
岩出西店

積極的新規出店； さらなるドミナント戦略強化

当社はスーパーリージョナルチェーンを目指していく上で、事業展開の軸をドミナント形成において参ります。大阪、和歌山、三重、奈良の1府3県に資源を集中します。チェーン展開の効率をさらに高めるためです。無駄なコストをさらに削減し、オークワの競争優位を形成するための戦略課題です。

当期はショッピングセンターを1店、スーパーマーケットを6店オープンし、既存店14店をリニューアルいたしました。

新規出店状況

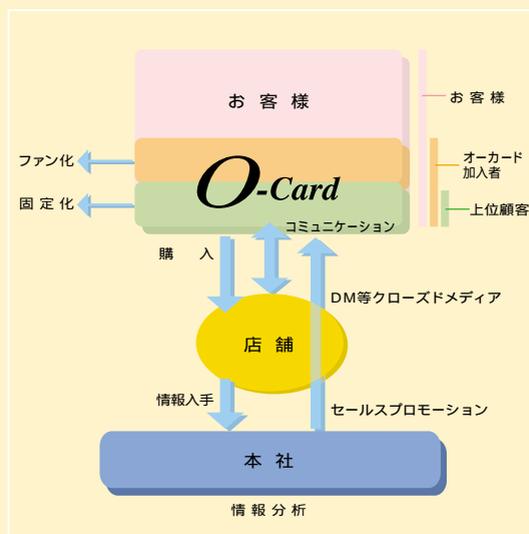


(フリーエージェント・ショッパー・プログラム)

F S P 導入による お客様との対話実現

昔のようにお客様は一樣ではありません。一人ひとりのニーズ、ウォンツが違っている時代です。もはやお客様をマスでとらえることはできません。そのためIT（インフォメーション・テクノロジー）を駆使し、お客様と積極的に対話を開始して参ります。幸い、115万人のお客様データを保持しております。これまでこのデータの活用は不十分であったことを反省し、お客様のニーズをきめ細かく把握するため、徹底的にお客様の購買データを活用して参ります。単なるポイントカードではなく、お客様データを個店の品揃えに生かし、お客様に支持されるお店づくりに邁進して参ります。このF S Pへの投資は社長として前向き、積極的に行っていく所存です。

F S P のフレーム



営業の概況

当期のわが国経済は、政府の経済対策などの効果もあられ、一部では景気回復の兆しがみられるものの、低調な民間設備投資や雇用・所得環境の厳しさを背景に個人消費が依然低迷し、経済全体が回復基調となるには、まだ程遠い環境下で推移いたしました。

流通業界におきましては、消費低迷が続く中で、店舗間競争は一段と激化し既存店舗の売上が不振となるなど厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社は「既存店活性化のため全従業員の英知を結集し、競争力のある強い店舗を目指そう」をスローガンに掲げ、組織改革により経営効率の向上をはかり、赤字店舗および赤字部門の黒字化対策のスピーディーな実行、商品仕入れコストの引き下げ、みはま・関流通センターの稼働によるローコスト・オペレーションの推進、お客様へのサービスレベルの向上、本社新社屋完成とOA化による情報ネットワークの構築などに取り組んでまいりました。

また、当期中には和歌山県下にショッピングセンターのロマンシティ御坊店、スーパースーパーマーケット（SSM）

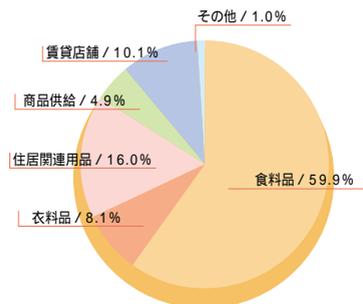
のかつらぎ店、南部店、岩出西店、本社中島店、奈良県下にSSMの香芝逢坂店、三重県下にSSMの津高茶屋店の合計7店を新設いたしました。既存店については、経営の効率化をはかるため、サンピア店、五曲店、明神店の3店を閉鎖したほか、笠田店、妙寺店、野村店、吉田店、香芝店は新設店とそれぞれ至近距離になるため閉鎖いたしました。

さらに、和歌山駅前店、六十谷店、海南店ほか11店の改装を実施いたしました。しかしながら、既存店の活性化は十分な効果が得られず減収となりました。

なお、平成11年8月21日付をもって三重県下でスーパーマーケットを運営する子会社である株式会社オークワを合併いたしました。

この結果、当期の業績につきましては、既存店が店舗間競争の激化や買上単価の低下などによる売上不振となり、営業収益は1,948億36百万円（前期比1.7%減）、経常利益は24億10百万円（前期比46.7%減）、当期利益は11億67百万円（前期比49.9%減）となりました。

部門別売上構成比



業態別売上構成比



単体貸借対照表

	第29期 (平成10年2月20日現在)	第30期 (平成11年2月20日現在)	第31期 (平成12年2月20日現在)		第29期 (平成10年2月20日現在)	第30期 (平成11年2月20日現在)	第31期 (平成12年2月20日現在)
(単位：百万円)				(単位：百万円)			
資産の部				負債の部			
流動資産				流動負債			
現金及び預金	6,962	6,380	6,579	支払手形	330	466	-
受取手形	4	-	-	買掛金	8,720	8,976	8,505
売掛金	997	1,640	732	短期借入金	10,170	15,390	19,962
有価証券	14	1	150	一年以内返済予定長期借入金	1,936	2,121	2,894
商品	6,338	6,891	7,496	未払金	4,090	4,296	4,554
前渡金	47	71	53	未払法人税等	1,451	460	133
前払費用	22	38	56	未払事業税等	439	171	-
短期貸付金	4,470	4,900	700	未払消費税等	966	-	249
未収入金	854	944	1,188	未払費用	2,059	2,072	2,340
立替金	175	37	38	預り金	314	452	587
自己株式	0	3	4	設備関係支払手形	2,289	2,191	1,489
その他	216	116	79	その他	1,237	1,335	1,420
貸倒引当金	56	66	6	流動負債合計	34,005	37,933	42,137
流動資産合計	20,050	20,959	17,072	固定負債			
固定資産				長期借入金	6,895	8,844	11,788
有形固定資産				退職給与引当金	228	212	197
建物	29,809	34,194	40,949	役員退職慰労引当金	667	737	280
構築物	2,385	2,906	3,600	預り保証金	6,907	6,716	7,154
機械及び装置	656	724	595	固定負債合計	14,698	16,511	19,421
車両及び運搬具	62	48	31	負債合計	48,703	54,444	61,559
器具及び備品	1,125	1,492	1,753				
土地	21,597	21,901	24,522				
建設仮勘定	1,693	1,691	1,734				
有形固定資産合計	57,330	62,959	73,188				
無形固定資産							
営業権	-	-	11				
借地権	1,957	2,328	2,866				
その他	387	401	454				
無形固定資産合計	2,344	2,730	3,331				
投資等				資本の部			
投資有価証券	2,287	1,805	2,023	資本金	14,117	14,117	14,117
子会社株式	5,371	5,493	2,321	法定準備金			
長期貸付金	6	0	7	資本準備金	14,027	14,027	14,027
長期前払費用	803	911	1,042	利益準備金	968	1,070	1,172
投資不動産	937	937	970	法定準備金合計	14,996	15,098	15,200
差入保証金	17,209	17,531	18,381	剰余金			
店舗賃借仮勘定	364	289	813	圧縮記帳積立金	1,984	1,989	1,989
その他	10	10	9	特別償却準備金	32	-	81
貸倒引当金	1	-	39	別途積立金	23,500	21,700	21,700
投資等合計	26,988	26,981	25,530	当期未処分利益	3,379	6,281	4,475
固定資産合計	86,663	92,671	102,050	(うち当期利益)	(3,177)	(2,329)	(1,167)
資産合計	106,714	113,631	119,122	剰余金合計	28,896	29,970	28,245
				資本合計	58,010	59,186	57,563
				負債及び資本合計	106,714	113,631	119,122

単体損益計算書

(単位：百万円)

	第29期 (自 平成9年2月21日 至 平成10年2月20日)	第30期 (自 平成10年2月21日 至 平成11年2月20日)	第31期 (自 平成11年2月21日 至 平成12年2月20日)
--	---------------------------------------	--	--

経常損益の部

営業損益の部			
営業収益	184,579	198,183	194,836
売上高	181,153	194,529	190,643
不動産賃貸収入	1,617	1,721	2,016
その他の営業収入	1,807	1,932	2,176
営業費用	178,408	194,016	192,794
売上原価	135,092	148,179	143,708
販売費及び一般管理費	43,315	45,837	49,085
営業利益	6,170	4,166	2,041
営業外損益の部			
営業外収益	960	1,040	1,128
受取利息及び配当金	136	125	84
その他	824	915	1,044
営業外費用	745	684	759
支払利息	419	430	531
その他	325	254	228
経常利益	6,386	4,522	2,410

特別損益の部

特別利益	119	289	496
前期損益修正益	-	65	-
貸倒引当金戻入額	-	-	20
規定改定に伴う役員退職慰労引当金取崩額	-	-	245
固定資産売却益	7	5	0
投資有価証券売却益	-	107	80
賃貸契約解約金	112	110	149
特別損失	560	555	964
厚生年金基金過去勤務費用掛金	136	137	162
固定資産売却損及び除却損	142	177	599
投資有価証券評価損	277	225	47
社葬費用	-	-	55
南紀熊野体験博施設協賛金	-	-	100
役員退職慰労金	4	15	-
税引前当期利益	5,945	4,257	1,942
法人税及び住民税	2,768	1,928	-
法人税、住民税及び事業税	-	-	774
当期利益	3,177	2,329	1,167
前期繰越利益	704	4,641	5,636
利益による自己株式消却額	-	137	-
合併による自己株式消却額	-	-	1,778
中間配当額	456	501	500
利益準備金積立額	45	50	50
当期末処分利益	3,379	6,281	4,475

注記

貸借対照表関係

- 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 未払事業税及び未払事業所税については、従来「未払事業税等」として表示していましたが、当期より未払事業税(13百万円)は「未払法人税等」に含め、未払事業所税(59百万円)は「未払金」へ含めて表示する方法にそれぞれ変更しております。
- 有形固定資産の減価償却累計額は、41,989百万円であります。
- 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として、店舗用什器があります。
- 担保に供されている資産は

土地	575百万円
建物	749百万円
定期預金	10百万円であります。
- 子会社に対する債権・債務は

短期金銭債権	832百万円
短期金銭債務	311百万円
長期金銭債務	1,007百万円であります。
- 保証債務は、440百万円であります。
- 1株当たりの当期利益は、25円66銭であります。

損益計算書関係

- 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 事業税については、従来「販売費及び一般管理費」に含めて表示していましたが、当期より「法人税及び住民税」と併せて「法人税、住民税及び事業税」として表示区分を変更しております。なお、この変更により従来の方法に比べて「販売費及び一般管理費」は137百万円減少し、営業利益、経常利益及び税引前当期利益は、それぞれ同額増加しております。
- 子会社との取引高は

売上高	6,322百万円
仕入高	2,163百万円
営業取引以外の取引高	74百万円であります。

利益処分

<単位：円>

科目

当期末処分利益	4,475,228,571
圧縮記帳積立金取崩高	25,978,345
合計	4,501,206,916
これを次のとおり処分いたします。	
利益準備金	51,000,000
利益配当金	500,317,642
(1株につき 普通配当 10円 記念配当 1円)	
特別償却準備金	99,495,643
次期繰越利益	3,850,393,631

- (注) 1. 圧縮記帳積立金の取崩し及び特別償却準備金の積立では、租税特別措置法の規定に基づくものであります。
2. 平成11年11月10日に500,340,643円(1株につき11円)の中間配当を実施いたしました。

連結貸借対照表

	第29期	第30期	第31期		第29期	第30期	第31期
	(平成10年2月20日現在)	(平成11年2月20日現在)	(平成12年2月20日現在)		(平成10年2月20日現在)	(平成11年2月20日現在)	(平成12年2月20日現在)
(単位：百万円)				(単位：百万円)			
資産の部				負債の部			
流動資産				流動負債			
現金及び預金	8,966	8,667	7,617	支払手形及び買掛金	10,340	10,265	9,294
受取手形及び売掛金	700	686	765	短期借入金	12,750	18,020	22,928
有価証券	62	1	150	一年以内返済予定長期借入金	2,570	2,617	3,020
たな卸資産	9,203	9,852	10,101	未払法人税等	1,487	621	146
前払費用	32	50	-	未払事業税等	443	210	-
その他	1,373	1,188	1,464	未払消費税等	1,141	124	271
貸倒引当金	15	2	5	未払費用	2,127	2,240	-
流動資産合計	20,323	20,445	20,094	設備関係支払手形	2,969	2,324	-
固定資産				その他	5,795	6,599	10,758
有形固定資産				流動負債合計	39,626	43,024	46,419
建物及び構築物	37,931	43,033	46,758	固定負債			
機械及び装置	812	850	-	長期借入金	8,780	9,649	11,943
車両及び運搬具	96	68	-	退職給与引当金	275	268	250
機械装置及び運搬具	-	-	641	役員退職慰労引当金	667	737	280
器具及び備品	1,668	2,016	2,005	預り保証金	6,862	7,273	6,729
土地	25,034	25,287	24,607	固定負債合計	16,586	17,928	19,203
建設仮勘定	1,749	1,724	1,752	少数株主持分	141	1	-
有形固定資産合計	67,293	72,981	75,766	負債合計	56,354	60,954	65,623
無形固定資産				少数株主持分			
無形固定資産	-	-	3,649	少数株主持分	-	-	1
借地権	2,392	2,832	-				
その他	433	447	-				
無形固定資産合計	2,825	3,279	3,649				
投資その他の資産				資本の部			
投資有価証券	3,685	2,899	2,890	資本金	14,117	14,117	14,117
出資金	93	90	-	資本準備金	14,027	14,027	14,027
長期貸付金	6	0	-	利益準備金	976	1,080	-
長期前払費用	946	1,017	-	連結剰余金	-	-	31,030
差入保証金	19,551	19,718	19,299	その他剰余金	30,591	31,523	-
その他	1,341	1,266	3,133	自己株式	0	3	4
貸倒引当金	1	-	39	資本合計	59,712	60,745	59,170
投資その他の資産合計	25,624	24,993	25,284	負債及び資本合計	116,066	121,700	-
固定資産合計	95,742	101,255	104,700	負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	124,795
資産合計	116,066	121,700	124,795				

連結損益計算書

(単位：百万円)	第29期	第30期	第31期
	(自 平成9年2月21日 至 平成10年2月20日)	(自 平成10年2月21日 至 平成11年2月20日)	(自 平成11年2月21日 至 平成12年2月20日)
経常損益の部			
営業損益の部			
売上高	213,866	216,114	209,177
売上原価	156,070	158,294	153,538
売上総利益	57,795	57,820	55,638
営業収入			
営業収入	4,858	4,942	5,216
不動産賃貸収入	1,033	1,389	1,470
その他の営業収入	3,825	3,552	3,746
営業総利益	62,654	62,762	60,855
販売費及び一般管理費	56,367	58,058	58,537
営業利益	6,287	4,704	2,317
営業外収益の部			
営業外収益	1,078	1,070	1,114
受取利息	24	25	21
その他	1,053	1,044	1,093
営業外費用	1,024	882	1,186
支払利息	559	506	588
持分法による投資損失	-	-	300
その他	465	375	298
経常利益	6,341	4,892	2,245
特別損益の部			
特別利益	169	332	475
前期損益修正益	-	65	-
貸倒引当金戻入額	9	13	-
固定資産売却益	30	34	0
投資有価証券売却益	17	107	80
賃貸契約解約金	112	110	149
役員退職慰労引当金取崩額	-	-	245
特別損失	828	603	1,033
厚生年金基金過去勤務費用掛金	136	137	162
固定資産売却損	29	3	1
固定資産除却損	331	204	666
投資有価証券評価損	277	242	47
役員退職慰労金	54	16	-
社葬費用	-	-	55
南紀熊野体験博施設協賛金	-	-	100
税金等調整前当期純利益	5,682	4,620	1,687
法人税及び住民税	2,872	2,135	-
法人税、住民税及び事業税	-	-	891
少数株主帰属損失	18	17	-
少数株主損失	-	-	0
連結調整勘定当期償却額(損失)	-	1	-
持分法による投資利益	2	52	-
当期純利益	2,830	2,553	796

連結剰余金計算書

科目	(単位：百万円)
連結剰余金期首残高	32,604
その他の剰余金期首残高	31,523
利益準備金期首残高	1,080
連結剰余金減少高	
配当金	1,000
取締役賞与金	10
監査役賞与金	1
連結子会社合併による減少高	1,358
連結剰余金減少高合計	2,370
当期純利益	796
連結剰余金期末残高	31,030

連結子会社

会社名	資本金 (百万円)	持株比率 (%)	主要な事業内容
(株)オークフーズ	296	95.5	ファミリーレストラン等の飲食業
(株)オーマート	1,100	100.0	DIY・日用品・医薬品等の小売業、CD・ビデオレンタル業

(注) 株式会社 オークワは平成11年8月21日に吸収合併いたしました。



OUT LINE

株式の状況 (平成12年2月20日現在)

会社が発行する株式の総数	159,856,000株
発行済株式の総数	45,488,297株
株主数	4,033名

自己株式の取得、処分等および保有

「株式の消却の手續に関する商法の特例に関する法律」第3条および定款の定めにより、平成12年3月17日開催の取締役会において、経済情勢、当社の業務および財産の状況を勘案し得策との理由に基づき、利益による消却のために、当社額面普通株式120千株を総額120百万円で取得する旨決議いたしました。

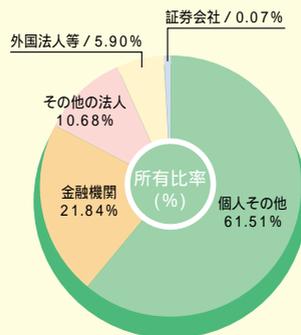
なお、当期中におきましては、自己株式の取得、処分等の該当事項はありません。

大株主

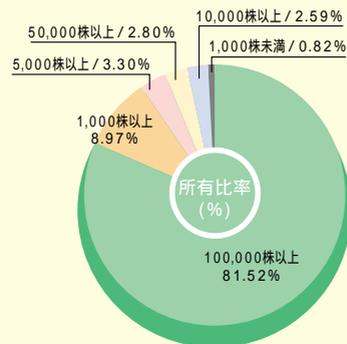
株主名	持株数	持株比率
大桑埴嗣	4,781千株	10.51%
大桑祥嗣	4,333千株	9.53%
大桑俊男	3,979千株	8.75%
大桑啓嗣	3,837千株	8.44%
住友信託銀行株式会社	2,169千株	4.77%

株主名	持株数	持株比率
財団法人 大桑教育文化振興財団	1,520千株	3.34%
チェーンストアオークワ共栄会	1,375千株	3.02%
浜田さだ彥	987千株	2.17%
チェーンストアオークワ社員持株会	877千株	1.93%
ザチースマンハッタンバンクエヌイロンドン	870千株	1.91%

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



会社概要

(平成12年2月20日現在)

社名	株式会社 チェーンストアオークワ
創業	昭和13年5月
会社創立	昭和34年2月27日
会社設立	昭和44年2月21日
資本金	141億1千749万円
本社所在地	和歌山市中島185番地の3 TEL.(073)425-2481(代)
従業員数	2,062名(社員) 3,755名(準社員)
事業内容	システムによるチェーンストア経営 衣料品、家庭用品、住居用品、室内装飾品、DIY、 レジャー用品、スポーツ用品、家具、家庭電化製品、 貴金属、化粧品、医薬品、カメラ、DPE、 食料品、酒類、米類の販売、 旅行業務
店舗数	和歌山、大阪、奈良、三重に108店舗

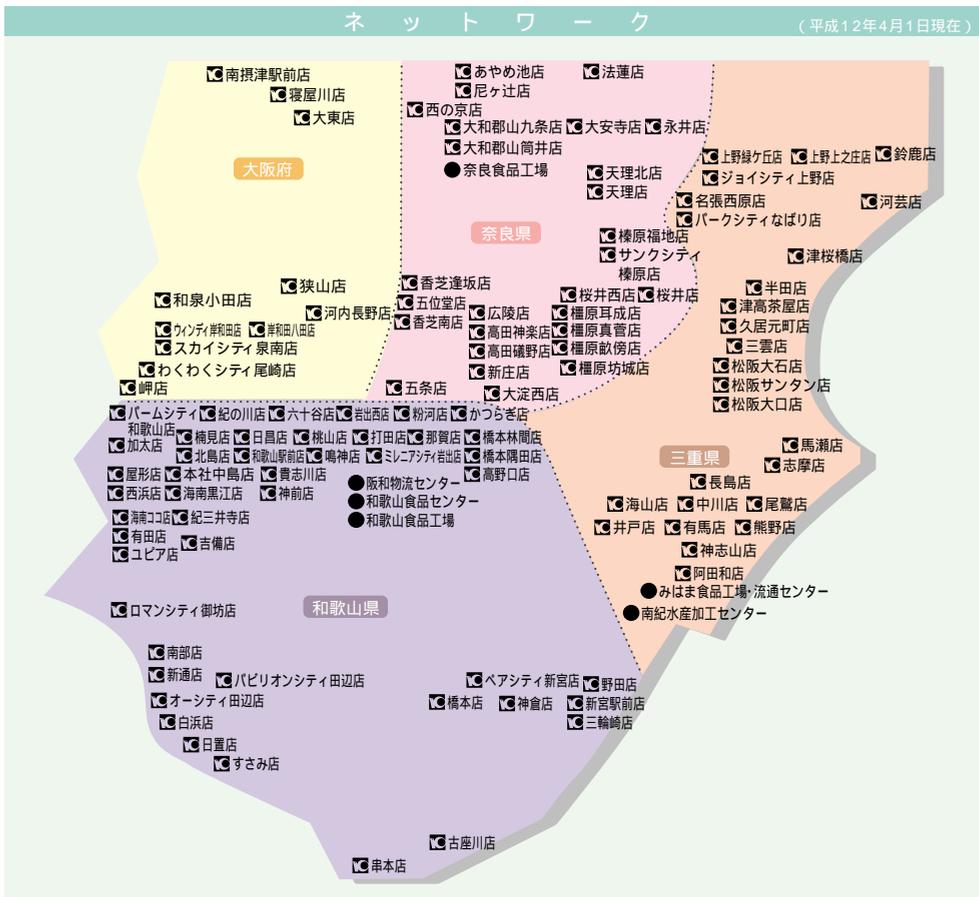
当社「株式会社チェーンストアオークワ」は平成12年2月21日をもって「株式会社オークワ」に社名変更しております。

役員

代表取締役会長	大桑 増 嗣
取締役副会長	大桑 祥 嗣
代表取締役社長	大桑 啓 嗣
常務取締役	宇治山 健 一
常務取締役	横永 栄 靖
常務取締役	山本 正 也
取締役	下和田 八十八
取締役	宇治田 日侶
取締役	速水 悌 造
取締役	大桑 俊 男
取締役	大橋 本 清
常勤監査役	榎本 文 春
監査役	中本 昭 司
監査役	川 邑 宗 司

株 主 メ モ

決算期	2月20日
名義書換停止期間	(定時) 2月21日から3月20日まで (臨時) あらかじめ必要ある場合に 公告する期間
利益配当金受領株主確定日	2月20日
中間配当金受領株主確定日	8月20日
定時株主総会	5月
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第一部
名義書換代理人	住友信託銀行株式会社 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
同事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 証券代行部 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 (郵便物送付先) (電話照会先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 東京<府中> (042)351-2211 大阪<千里> (06)6833-4700
同取次所	住友信託銀行株式会社全国各支店



主 な 事 業 所

本 社	和歌山市中島185番地の3
阪 和 物 流 セ ン タ ー	和歌山市大垣内633番地
関 流 通 セ ン タ ー	三重県鈴鹿郡関町転石1番地の1
みはま食品工場・流通センター	三重県南牟婁郡御浜町阿田和宇賀松3514
和 歌 山 食 品 工 場	和歌山市吐前字刈り1043番地
奈 良 食 品 工 場	奈良県大和郡山市池沢町224番地
和 歌 山 食 品 セ ン タ ー	和歌山市大垣内621番地の1
南 紀 水 産 加 工 セ ン タ ー	三重県南牟婁郡紀宝町成川345番地の8
店 舗	店舗数 110店